

## 会告 I

### 第 62 回日本輸血・細胞治療学会総会の案内 (第 5 報)

会員各位

この度、第 62 回日本輸血・細胞治療学会総会を本年 5 月 15 日 (木)~17 日 (土) の 3 日間にわたり、奈良市で開催させて頂くことになりました。奈良での本学会の開催は、実に 31 年ぶりとなります。学会は奈良公園内にある奈良県文化会館、東大寺総合文化センター、そして奈良県新公会堂の 3 会場をシャトルバスで連結して開催する予定ですが、このコース内には国宝級の社寺仏閣が数多くあり、またこの季節は、学会ポスターにある春日大社の長さ 1m を超える「砂ずりの藤」がとりわけ見事であります。

さて、輸血医療はこの 31 年間に飛躍的な進歩を遂げ、肝炎に代表される輸血後感染症、移植片対宿主病 (GVHD)、取り違え防止策などへの取り組み等により輸血の安全性は大幅に高まってまいりました。また、より最近には血小板輸血や血漿交換療法による止血血栓療法の効用が分子レベルで明らかにされ、近代輸血医学は経験よりも、明確なエビデンス (evidence-based medicine, EBM) に基づいて構成される事が実証されました。そのため、今回の学会のテーマは「EBM に基づく輸血・細胞治療」とし、EBM を学ぶとともに、新たな EBM が報告されることを期待しています。

最先端の学術プログラムで勉強していただくと同時に、非常に良い季節の奈良の観光を楽しんでいただける学会になると思います。多数の皆様のご参加をお待ち致しております。

#### コンgresバッグのお知らせ

コンgresバッグは右のオリジナルトートバッグ (赤色 Ver. 紺色 Ver.) を 2 種類準備しております。

どちらか一方を参加登録時にお受け取りください。



赤色 Ver.



紺色 Ver.

第 62 回日本輸血・細胞治療学会総会  
総会長 藤村 吉博  
(奈良県立医科大学附属病院 輸血部 教授)

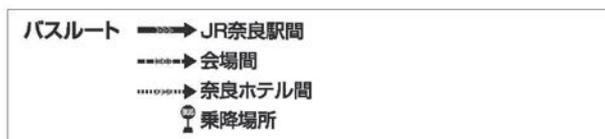
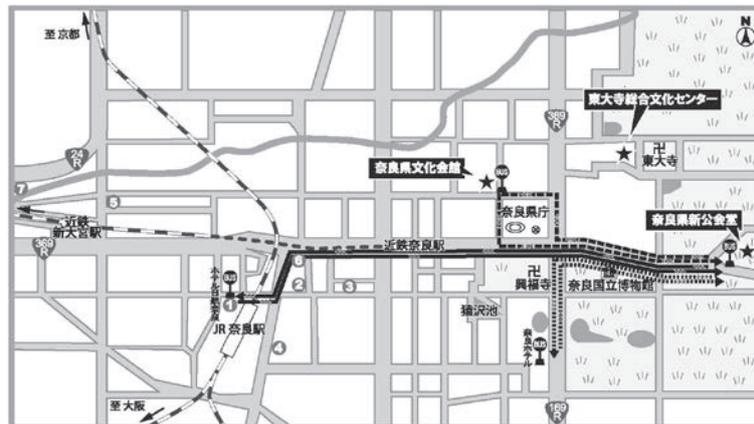
記

会 期：2014年（平成26年）5月15日（木）～17日（土）

総 会 長：藤村 吉博（奈良県立医科大学附属病院 輸血部）

事務局長：松本 雅則（奈良県立医科大学附属病院 輸血部）

会 場：奈良県文化会館（〒630-8213 奈良市登大路町 6-2 TEL：0742-23-8921）  
 奈良県新公会堂（〒630-8212 奈良市春日野町 101 TEL：0742-27-2630）  
 東大寺総合文化センター（〒630-8208 奈良市水門町 100 TEL：0742-20-5511）



- ホテル一覧
- |                 |              |
|-----------------|--------------|
| ① ホテル日航奈良       | ⑤ ホテル・葉風奈夢   |
| ② 奈良ワシントンホテルプラザ | ⑥ ホテルアジュール奈良 |
| ③ ホテルフジタ奈良      | ⑦ 奈良ロイヤルホテル  |
| ④ コンフォートホテル奈良   |              |

※ホテル日航奈良（JR 奈良駅前）西口ロータリーより奈良県文化会館，奈良県新公会堂，奈良ホテルまで随時シャトルバスを運行する予定です。

※詳細は確定次第，随時学会ホームページにて公開いたします。

ご 宿 泊：学会ホームページにて受付を開始しております。ぜひご利用ください。

＜受付締切＞4月30日（水）17：00 まで

事前参加登録：本会では，事前参加登録を受け付けております。

当日の受付での混雑を避けるため，事前参加登録にご協力ください。

また，事前参加登録をしていただいた方には，東大寺および東大寺ミュージアム共通入場券（800円相当）を進呈いたします。

＜受付締切＞3月31日（月）

【参加費】 事前/当日 10,000円，懇親会（5月16日（金）18：00～開催予定）1,000円

※事前登録の場合も，当日登録の場合も，参加費は【10,000円】です。

懇親会参加希望の場合は同時にお申込みいただけます。

※事前参加登録締切後，4月中旬頃に参加証をお送りいたします。

※いかなる場合も返金はお受けいたしかねます。ご了承ください。

## プログラム概要 (一部仮題) ※敬称略

- 総会長講演 (PL)** 5月15日(木) 14:00~15:00  
「My life-VWF 研究と EBM 輸血」  
座長: 池田 康夫 (早稲田大学理工学術院 先進理工学部 生命医科学科・生命医学専攻 教授)  
Frances O'Neill Zimmerman (USA)  
演者: 藤村 吉博 (奈良県立医科大学 輸血部 教授)
- 総会長要望講演 (PR)** 5月15日(木) 09:30~10:00  
「輸血感染症の現状と対応策」  
座長: 半田 誠 (慶應義塾大学 輸血・細胞療法センター)  
演者: 田所 憲治 (日本赤十字社血液事業本部)
- 特別講演 1 (SL-1)** 5月15日(木) 16:30~17:30  
「クモの糸の世界」  
座長: 中川 雅夫 (京都府立医科大学 名誉教授)  
演者: 大崎 茂芳 (奈良県立医科大学医学部皮膚科学 特任教授・名誉教授)
- 特別講演 2 (SL-2)** 5月15日(木) 10:00~11:00  
「鉄代謝研究の流れからみた鉄過剰症の分子病態と治療の進歩」  
座長: 高本 滋 (日本赤十字社北海道ブロック血液センター 所長)  
演者: 高後 裕 (旭川医科大学 内科学講座 消化器・血液腫瘍制御内科学分野)
- 特別講演 3 (SL-3)** 5月16日(金) 14:00~15:00  
「血小板はおもしろい/血小板の基礎と臨床」  
座長: 吉岡 章 (奈良県立医科大学 学長)  
演者: 半田 誠 (慶應義塾大学輸血・細胞療法センター)
- 特別講演 4 (SL-4)** 5月16日(金) 10:00~11:00  
「Thrombotic thrombocytopenic purpura: New insights and remaining questions」  
座長: 齋藤 英彦 (名古屋大学 名誉教授)  
演者: Bernhard Laemmle (ベルン大学, スイス)
- 特別講演 5 (SL-5)** 5月16日(金) 11:00~12:00  
「Current Management of the Inherited and acquired defects of VWF」  
座長: 松下 正 (名古屋大学医学部附属病院 輸血部)  
演者: Augusto Federici (ミラノ大学, イタリア)
- 特別講演 6 (SL-6)** 5月17日(土) 14:00~15:00  
「光明皇后と奈良時代の医薬」  
座長: 高橋 孝喜 (日本赤十字社 血液事業本部 経営会議委員)  
演者: 西山 厚 (奈良国立博物館 学芸部長)
- 特別講演 7 (SL-7)** 5月17日(土) 14:00~15:00  
「iPS 細胞技術を用いた新しい輸血治療ソースの開拓と開発戦略」  
座長: 田所 憲治 (日本赤十字社血液事業本部)  
演者: 江藤 浩之 (京都大学 iPS 細胞研究所 臨床応用研究部門)
- 教育講演 1 (EL-1)** 5月15日(木) 09:00~09:30  
「“未知との遭遇” から 28 年—EB ウイルスの 20 面相とその対策—」  
座長: 中島 一格 (東京都赤十字血液センター 所長)  
演者: 河 敬世 (日本赤十字社 近畿ブロック血液センター 所長)
- 教育講演 2 (EL-2)** 5月15日(木) 09:00~09:30  
「輸血医学教育標準カリキュラムの提言」  
座長: 湯浅 晋治 (順天堂大学 名誉教授)  
演者: 佐川 公矯 (佐賀県赤十字血液センター)

- 教育講演 3 (EL-3)** 5月15日(木) 09:00~09:30  
「EBMに基づいた TRALI の診断・治療」  
座長:加藤 栄史(愛知医科大学病院 輸血部)  
演者:岡崎 仁(東京大学医学部附属病院 輸血部)
- 教育講演 4 (EL-4)** 5月15日(木) 09:00~09:30  
「血液製剤の院内調製・運用について」  
座長:浅井 隆善(千葉県赤十字血液センター 所長)  
演者:前田 平生(埼玉医科大学総合医療センター 輸血・細胞治療部)
- 教育講演 5 (EL-5)** 5月15日(木) 09:00~09:30  
「人工赤血球(ヘモグロビン小胞体)の実現に向けて」  
座長:伴野 丞計(血液製剤調査機構 理事長)  
演者:酒井 宏水(奈良県立医科大学 医学部 化学教室)
- 教育講演 6 (EL-6)** 5月16日(金) 09:00~09:30  
「I&A の ABC」  
座長:長田 広司(静岡市立清水病院 検査技術科 血液センター)  
演者:倉田 義之(四天王寺大学 人文社会学部 人間福祉学科 健康福祉専攻)
- 教育講演 7 (EL-7)** 5月16日(金) 09:00~09:30  
「新生児・小児の輸血療法」  
座長:星 順隆(医療法人財団順和会 山王病院 小児科)  
演者:高橋 幸博(奈良県立医科大学附属病院総合周産期母子医療センター 新生児集中治療部門)
- 教育講演 8 (EL-8)** 5月16日(金) 09:00~09:30  
「ADAMTS13 の発見から臨床応用の可能性まで」  
座長:米村 雄士(国立大学法人 熊本大学医学部附属病院 輸血・細胞治療部)  
演者:副島 見事(一般財団法人化学及血清療法研究所)
- 教育講演 9 (EL-9)** 5月16日(金) 09:00~09:30  
「非感染性非溶血性輸血副作用の病態, 原因を解析するための各種検査法の現状」  
座長:辻 肇(京都府赤十字血液センター)  
演者:平山 文也(日本赤十字社 近畿ブロック血液センター)
- 教育講演 10 (EL-10)** 5月16日(金) 09:00~09:30  
「輸血検査の現状と課題」  
座長:押田真知子(大阪医療技術学園専門学校)  
演者:国分寺 晃(広島国際大学 保健医療学部)
- 教育講演 11 (EL-11)** 5月17日(土) 09:00~09:30  
「輸血感染症としての寄生虫症」  
座長:山口 一成(熊本大学 発生医学研究所)  
演者:吉川 正英(奈良県立医科大学 病原体・感染防御医学講座)
- 教育講演 12 (EL-12)** 5月17日(土) 09:00~09:30  
「HLA 適合および洗浄血小板製剤の使用」  
座長:谷 慶彦(日本赤十字社近畿ブロック血液センター 副所長)  
演者:椿 和央(近畿大学医学部奈良病院 血液内科)
- 教育講演 13 (EL-13)** 5月17日(土) 12:00~12:30  
「血友病インヒビター陽性例の診療と課題」  
座長:高松 純樹(日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター 所長)  
演者:嶋 緑倫(奈良県立医科大学 小児科)
- 教育講演 14 (EL-14)** 5月17日(土) 09:00~09:30  
「医療事故調査制度の創設に向けて」  
座長:面川 進(秋田県赤十字血液センター)  
演者:大坪 寛子(厚生労働省医政局総務課医療安全推進室室長)

## ●教育講演 15 (EL-15) 5月17日(土) 09:00~09:30

「造血幹細胞の採取と保存」

座長: 大戸 齊 (公立大学法人 福島県立医科大学附属病院 輸血・移植免疫部)

演者: 牧野 茂義 (国家公務員共済組合連合会虎の門病院輸血部)

## ●教育講演 16 (EL-16) 5月17日(土) 09:00~09:30

「発作性夜間ヘモグロビン尿症 (PNH) の病態と治療の話題と課題」

座長: 塩原信太郎 (石川県赤十字血液センター 所長)

演者: 中熊 秀喜 (和歌山県立医科大学 医学部 血液内科学講座)

## ●シンポジウム 1 (S-1) 5月15日(木) 10:00~12:00

「輸血医学の温故知新」

座長: 柴田 弘俊 (大阪府赤十字血液センター 名誉所長)

清水 勝 (特定医療法人西城病院)

シンポジスト:

- 1) 造血前駆細胞から臍帯血バンクへ  
原 宏 (上ヶ原病院)
- 2) 輸血後 GVHD の実態調査と発症の根絶  
十字 猛夫 (日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所 名誉所長)
- 3) 日独共同研究による TTP 治療  
伊藤 和彦 (京都大学医学部附属病院 輸血部 (元))
- 4) 大学病院輸血部の存続問題の経緯  
柴田 洋一 (日本輸血・細胞治療学会 名誉会員)

## ●シンポジウム 2 (S-2) 5月15日(木) 10:00~11:30

「輸血部門の管理業務 up-to-date」

座長: 紀野 修一 (国立大学法人旭川医科大学病院 臨床検査・輸血部 輸血・細胞療法部門)

河野 武弘 (大阪医科大学附属病院 輸血室)

シンポジスト:

- 1) 製剤管理 (保管・転用, 廃棄血削減, 末梢血幹細胞などを含む)  
奥田 誠 (東邦大学医療センター大森病院 輸血部)
- 2) 奈良医大における血漿分画製剤の輸血部管理の現状と問題点  
前田 美和 (奈良県立医科大学附属病院 輸血部)
- 3) ヘモビジランス  
安藤 高宣 (愛知医科大学病院 輸血部)
- 4) 輸血療法委員会の活性化による適正輸血の推進  
鳴川 康代 (大阪医科大学附属病院 輸血室)
- 5) 危機的出血に対する輸血部門の備え  
花田 大輔 (旭川医科大学病院 臨床検査・輸血部)

## ●シンポジウム 3 (S-3) 5月15日(木) 15:30~17:30

「臍帯血を用いた細胞治療の新しい展開」

座長: 神前 昌敏 (大阪府赤十字血液センター)

植田 充治 (聖バルナバ病院 名誉院長)

シンポジスト:

- 1) ポストネットワーク (NW) 時代のさい帯血バンク事業—法制化後の現状と課題—  
松本加代子 (日本赤十字社近畿さい帯血バンク)
- 2) 臍帯血採取を実施している施設の現状  
赤崎 正佳 (赤崎クリニック)
- 3) 臍帯血移植の現状と課題  
高橋 聡 (東京大学 医科学研究所 血液腫瘍内科)

4) 骨髄内臍帯血移植

岡田 昌也 (兵庫医科大学 血液内科)

●シンポジウム 4 (S-4) 5月15日 (木) 10:00~12:00

「輸血ガイドラインの見直し」

座長: 松下 正 (名古屋大学医学部附属病院 輸血部)

松本 雅則 (奈良県立医科大学 輸血部)

シンポジスト:

- 1) 赤血球濃厚液の使用指針の見直し  
津野 寛和 (東京大学医学部附属病院 輸血部)
- 2) 新鮮凍結血漿の使用指針を見直す  
山本 晃士 (名古屋大学医学部附属病院 輸血部)
- 3) 血小板濃厚液使用指針の見直し  
羽藤 高明 (愛媛大学医学部附属病院輸血・細胞治療部)
- 4) アルブミンの使用指針見直し  
田中 朝志 (東京医科大学八王子医療センター 輸血部)

●シンポジウム 5 (S-5) 5月15日 (木) 15:30~17:30

「ADAMTS13 と疾患との関連」

座長: 稲葉 頌一 (神奈川県赤十字血液センター 所長)

西尾 健治 (奈良県立医科大学附属病院 総合診療科)

シンポジスト:

- 1) VWF 切断酵素 ADAMTS13 の基礎知識  
小亀 浩市 (国立循環器病研究センター 分子病態部)
- 2) 肝疾患と ADAMTS13  
福井 博 (奈良県立医科大学第三内科学教室 消化器・内分泌代謝内科)
- 3) 肝移植と ADAMTS13  
中島 祥介 (奈良県立医科大学 消化器・総合外科学)
- 4) 脳虚血と ADAMTS13  
藤岡 政行 (奈良県立医科大学 救急医学・高度救命救急センター)
- 5) 心筋梗塞における ADAMTS13 の心筋保護作用: VWF 依存性血栓—炎症反応の制御  
杉本 充彦 (奈良県立医科大学 血栓制御医学)

●シンポジウム 6 (S-6) 5月15日 (木) 10:00~11:30

「抗 B 型肝炎免疫グロブリン製剤 (HBIG) の国内自給率向上対策」

座長: 高橋 孝喜 (日本赤十字社 血液事業本部 経営会議委員)

長谷川 潔 (東京大学大学院医学系研究科臓器病態外科学講座 肝胆臓外科学)

シンポジスト:

- 1) HBIG 国内自給に向けて  
松崎 浩史 (日本赤十字社血液事業本部)
- 2) 血液製剤の国内自給に向けて  
上田 恵子 (厚生労働省 血液対策課 課長補佐)
- 3) HBIG 原料血漿確保のためのワクチン接種の有効性と安全性  
八橋 弘 (長崎医療センター 臨床研究センター)
- 4) 諸外国および国内献血由来 HBIG 製剤製造の現状と課題  
脇坂 明美 (日本血液製剤機構千歳工場)
- 5) 高力価 HBs 抗体ドナーからの原料血漿確保の現状と課題  
西田 一雄 (日本赤十字社血液事業本部)

## ●シンポジウム7 (S-7) 5月16日(金) 10:00~12:00

「iPS細胞を用いた細胞療法への展開」

座長：前川 平(京都大学医学部附属病院 輸血細胞治療部)

木村 貴文(京都大学 iPS細胞研究所 (CiRA))

シンポジスト：

- 1) iPS細胞等を利用した赤血球の人工生産  
中村 幸夫(理化学研究所バイオリソースセンター)
- 2) iPS細胞技術を用いて再生した抗原特異的CTLによるがん免疫療法の開発  
河本 宏(京都大学再生医科学研究所 再生免疫学分野)
- 3) iPS細胞由来のミエロイド細胞(iPS-ML)によるがん治療  
千住 覚(熊本大学 大学院生命科学研究部 免疫識別学分野)
- 4) 動物を用いたヒト血液細胞の作出  
花園 豊(自治医科大学 再生医学研究部)

## ●シンポジウム8 (S-8) 5月16日(金) 15:30~17:30

「産婦人科における輸血の現状と問題点」

座長：小林 隆夫(浜松医療センター 院長)

小林 浩(奈良県立医科大学 産科婦人科学教室)

シンポジスト：

- 1) 周産期医療における血液製剤使用の現状と問題点  
牧野真太郎(順天堂大学 産科婦人科)
- 2) 産婦人科領域における貯血式自己血輸血の現状と問題点  
川口 龍二(奈良県立医科大学 産婦人科)
- 3) 産婦人科における回収式自己血輸血  
森川 守(北海道大学大学院医学研究科 産科・生殖医学分野)
- 4) 血液・母乳を介した母子感染(HTLV-1 母子感染を中心に)  
齋藤 滋(富山大学 産科婦人科)

## ●シンポジウム9 (S-9) 5月16日(金) 14:00~15:30

「自己フィブリン糊の臨床応用と課題」

座長：牧野 茂義(国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 輸血部)

小山 信彌(東邦大学医学部)

シンポジスト：

- 1) 自己フィブリン糊の作製および使用の現状  
牧野 茂義(虎の門病院・輸血部)
- 2) 整形外科領域における自己フィブリン糊の使用経験  
永野 智子(福岡大学医学部 整形外科学教室)
- 3) 口腔外科手術(顎矯正手術)における自己フィブリン糊の使用  
菅野 勇樹(東京大学大学院医学系研究科 外科学専攻 感覚・運動機能医学講座 口腔外科学分野)
- 4) 消化器外科領域における自己フィブリン糊の使用経験  
関野誠史郎(岐阜大学医学部 高度先進外科)
- 5) 経鼻的下垂体腫瘍摘出術における自己フィブリン糊の有用性  
西岡 宏(虎の門病院・間脳下垂体外科)

## ●シンポジウム10 (S-10) 5月16日(金) 15:30~17:30

「TTPとHUS」(総会長シンポジウム)

座長：藤村 吉博(奈良県立医科大学 輸血部)

森岡 正信(愛育病院 血液内科)

シンポジスト：

- 1) TTP/HUSの遺伝子解析  
宮田 敏行(国立循環器病研究センター分子病態部)

## 2) TTP の診断と治療

松本 雅則 (奈良県立医科大学 輸血部)

## 3) STEC-HUS の診断と治療

上田 恭典 (公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院 血液内科)

## 4) aHUS の診断

吉田 瑤子 (奈良県立医科大学 輸血部)

## 5) aHUS の治療

芦田 明 (大阪医科大学 泌尿生殖・発達医学講座 小児科)

## ●シンポジウム 11 (S-11) 5月16日(金) 10:00~11:30

「輸血後鉄過剰症のマネジメント」

座長: 藤井 康彦 (国立大学法人 山口大学医学部附属病院 輸血部)

芦田 隆司 (近畿大学医学部 血液・膠原病内科/近畿大学医学部附属病院 輸血・細胞治療センター)

シンポジスト:

## 1) 輸血後鉄過剰症の病態と治療

鈴木 隆浩 (自治医科大学医学部内科学講座 血液学部門)

## 2) 輸血後鉄過剰症のマネジメント~具体的な取り組み事例~医師の立場から~

末岡榮三朗 (佐賀大学 医学部 臨床検査医学講座)

## 3) 輸血後鉄過剰症に対する輸血部の役割

井上まどか (関西医科大学附属 枚方病院 輸血・細胞療法部)

## 4) 臨床輸血看護師による輸血後鉄過剰症に対する患者教育への取り組み

松本 真弓 (神鋼病院 看護部)

## ●シンポジウム 12 (S-12) 5月17日(土) 10:00~12:00

「輸血治療を補完する人工赤血球製剤の効力と安全性」

座長: 酒井 宏水 (奈良県立医科大学 化学教室)

高折 益彦 (川崎医科大学 名誉教授)

シンポジスト:

## 1) 人工赤血球 (ヘモグロビン小胞体) 製剤の開発状況

酒井 宏水 (奈良県立医科大学医学部 化学教室)

## 2) 人工赤血球製剤の血液学的, 免疫学的安全性

東 寛 (旭川医科大学 小児科学講座)

## 3) 人工酸素運搬体ヘモグロビン小胞体の体内動態解析に基づく安全性評価

小田切優樹 (崇城大学薬学部 薬物動態学研究室)

## 4) 人工赤血球製剤による救命救急の可能性

木下 学 (防衛医科大学校 免疫微生物学講座)

## 5) 人工赤血球製剤の臨床応用を目指して: 動物モデルを用いた検討

堀之内宏久 (さいたま市立病院 呼吸器外科)

## ●シンポジウム 13 (S-13) 5月17日(土) 09:30~11:00

「学会認定・自己血輸血看護師制度の課題—認定取得看護師はどこまで責任を負えるか—」

座長: 脇本 信博 (帝京大学医学部附属病院 整形外科)

面川 進 (秋田県赤十字血液センター)

シンポジスト:

## 1) 基調報告

脇本 信博 (帝京大学医学部附属病院 整形外科)

## 2) 看護師の立場から

足立 栄子 (函館五稜郭病院看護部)

## 3) 看護師の立場から

村田真由美 (倉敷中央病院 血液治療センター)

## 4) 医師の立場から

中村 文彦 (天理よろづ相談所病院 臨床検査部)

## 5) 医師の立場から

高橋 和寛 (中国電力(株)中電病院 整形外科)

## ●シンポジウム 14 (S-14) 5月17日(土) 11:00~12:30

「輸血医療における看護師の役割」

座長: 田崎 哲典 (東京慈恵会医科大学附属病院 輸血部)

梶原 道子 (国立大学法人 東京医科歯科大学医学部附属病院 輸血部)

シンポジスト:

## 1) 輸血医療と看護師

水田 秀一 (藤田保健衛生大学 血液内科)

## 2) 血液センター看護師の役割—学会認定アフェレーシスナース資格を取得して—

宮田裕実子 (日本赤十字社 富山県赤十字血液センター)

## 3) 大学病院における看護師の役割

井上 有子 (熊本大学医学部附属病院 東病棟4階)

## 4) 市中病院における臨床輸血看護師の役割

大西 まり (伊勢赤十字病院 看護部)

## ●シンポジウム 15 (S-15) 5月17日(土) 10:00~12:00

「細胞療法の現状と将来」

座長: 室井 一男 (自治医科大学附属病院 輸血・細胞移植部)

加藤 栄史 (愛知医科大学病院 輸血部)

シンポジスト:

## 1) 非血縁末梢血幹細胞採取の現況

奥山 美樹 (がん・感染症センター都立駒込病院 輸血・細胞治療科)

## 2) 造血幹細胞移植推進法と移植推進拠点病院

村田 誠 (名古屋大学医学部附属病院 血液内科)

## 3) [追加発言] 細胞医薬品への承認を目指した MSC の臨床試験

室井 一男 (自治医科大学附属病院 輸血・細胞移植部)

## 4) 間葉系幹細胞を用いた細胞療法の発展性

中山 享之 (愛知医科大学輸血部細胞療法部)

## 5) キメラ抗原受容体発現 T リンパ球を用いた B 細胞性腫瘍に対する遺伝子治療

大嶺 謙 (自治医科大学 内科学講座 血液学部門)

## 6) 樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法

下平 滋隆 (信州大学医学部附属病院 先端細胞治療センター)

## ●シンポジウム 16 (S-16) 5月17日(土) 10:00~12:00

「大量出血症例における急性凝固障害に対する最適輸血療法を考える」

座長: 宮田 茂樹 (独立行政法人国立循環器病研究センター 輸血管理室)

前田 平生 (埼玉医科大学 総合医療センター 輸血・細胞治療部)

シンポジスト:

## 1) 急性凝固障害に適応となる血液製剤とその問題点

宮田 茂樹 (独立行政法人国立循環器病研究センター 輸血管理室)

## 2) 心臓血管外科領域での大量出血への対応

小川 覚 (京都府立医科大学 麻酔科)

## 3) 産科領域における大量出血への輸血治療戦略

松永 茂剛 (埼玉医科大学総合医療センター, 総合周産期母子医療センター)

## 4) 消化器外科領域における大量輸血への対応

高 濟峯 (奈良県立奈良病院 外科・輸血部)

5) クリオプレシピテートの製造に関する考察

松崎 浩史 (日本赤十字社 血液事業本部)

●テクニカルセミナー (TS) 5月17日 (土) 13:30~15:30

造血細胞移植に必要な細胞処理・検査に関する技術講習会 (第3回)

座長: 室井 一男 (自治医科大学附属病院 輸血・細胞移植部)

田野崎隆二 (国立がん研究センター中央病院 輸血療法科)

演者:

1) 末梢血幹細胞採取から処理まで

上田 恭典 (公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院 血液内科)

2) アフェレーシスナーズの役割

松本 真弓 (神鋼病院 看護部)

3) 同種骨髄移植における採取・輸注と検査

池田 和彦 (福島県立医科大学 医学部 循環器・血液内科学講座)

プレゼンター:

4) 細胞採取から輸注・検査までについての Q&A

奥山 美樹 (がん・感染症センター都立駒込病院輸血・細胞治療科)

岸野 光司 (自治医科大学附属病院 輸血・細胞移植部)

上村 知恵 (慶應義塾大学病院 中央臨床検査部)

松本 真弓 (神鋼病院 看護部)

●輸血検査技師セミナー (RC-1) 5月17日 (土) 09:00~10:30

講演会—臨床からのメッセージ

1) 免疫膠原病内科の PE 症例について, 疾患とその効果等について

塚本 達雄 (京都大学大学院医学研究科 腎臓内科)

2) 小児科領域の輸血療法が必要となる疾患及び長期的なフォローについて

足立 壮一 (京都大学医学研究科人間健康科学系専攻)

●輸血検査技師セミナー (RC-2) 5月17日 (土) 10:30~12:00

症例検討会—輸血検査を考える

1) 遅発性溶血性輸血副作用 (DHTR) の症例と不規則抗体検査について

松本 慎二 (埼玉医科大学 国際医療センター 輸血・細胞移植部)

2) 自己抗体陽性患者の輸血検査について

寺内 純一 (昭和大学藤が丘病院 血液センター)

3) カラム凝集法の非特異反応に対応する!

橋本 誠 (神戸大学医学部附属病院 輸血部)

第 62 回総会本部:

奈良県立医科大学 輸血部

〒634-8522 奈良県橿原市四条町 840

TEL: 0744-22-3051 FAX: 0744-29-0771

第 62 回総会運営事務局 (演題登録・当日運営等全般):

株式会社 メッド内

〒701-0114 岡山県倉敷市松島 1075-3

TEL: 086-463-5344 FAX: 086-463-5345

E-mail: 62jstmct@med-gakkai.org

学会本部事務局 (学会入会申込等):

一般社団法人 日本輸血・細胞治療学会 事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-14-14 ユニテビル 5 階

TEL : 03-5804-2611 FAX : 03-5804-2612

E-mail : 62annual@jstmct.or.jp